

楽天グループの 22/12 期決算についてーモバイルは順調とはいえず、今後の動向を注視

以下は、楽天グループ株式会社（証券コード：4755）の 22/12 期決算を公表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

23 年 2 月 14 日に当社は 22/12 期決算を公表した。22/12 期の売上収益は 1 兆 9,278 億円（前期比 14.6%増）、営業利益は△3,638 億円であった。インターネットセグメントやフィンテックセグメントは堅調であったものの、モバイルセグメントでの赤字が負担になった。モバイルセグメントの赤字は、22/12 期第 1 四半期（△1,350 億円）をピークに、第 2 四半期は△1,242 億円、第 3 四半期は△1,208 億円、第 4 四半期は△1,126 億円と減少傾向で推移しているものの、その改善度合いは遅い。またモバイルの契約獲得は十分とはいえず。財務面でも赤字によって親会社の所有者に帰属する持分が減少するなど負荷がかかっている。JCR としては、本決算を受けて直ちに格付を見直すべきとは考えていないが、モバイルセグメントの早期の利益改善は必須とみている。今後の契約数、ユーザーのデータ使用量、通信品質、収支状況とともに、財務改善に向けた事業・資産を活用した資金調達の進捗を注視していく。

（担当）千種 裕之・本西 明久

【参考】

発行体：楽天グループ株式会社

長期発行体格付：A

見通し：ネガティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル